



主婦連合会

食育の取り組み

「食品リサイクルサロン」

「映画上映会」

「SDGs学習会」

「産地交流・見学」

「イベント参加」



主婦連合会

会長 有田芳子



神奈川県食育フェスタ(7月下旬)



☆若いお母さんや子ども向けにリーフレット作成

「もったいない！」を配布

内容:クイズ、リメイク簡単レシピ

☆「もったいない！」クイズ

Q日本の自給率は？

Q家庭での食品ロスは一日にどのくらい？

Q日本では1日にどれくらいの食品を捨ててる？

Q賞味期限、消費期限って？

Q家庭以外で出てしまう食品残渣の行方は？

☆環境に配慮した漁業や農業について伝える

* 東京都消費者月間交流フェスタ(10月)でも





《おうちでできること》

- ☆メニューを考えてお買い物を楽しみましょう！
- ☆見切り品、規格外野菜の購入を楽しみましょう！
- ☆国産のものや旬(季節)のものを食べましょう！
- ☆食べられる量を考えて作りすぎないように！
- ☆山盛り一皿より、個別に食べられる量を盛りつけましょう！
- ☆残り物も捨てないで作りなおして美味しくいただきます！
- ☆食べ物のお五感を鍛えましょう！



☆健康、安全・安心な食生活を送るために

「食」についての学習会

☆農業体験、産地交流、里山活動

稲刈り、芋ほり、野菜収穫など

☆親子料理教室

お味噌づくり・麺うち体験など

☆フード・アクション・ニッポン

食料自給率向上に向けた取組に参加

☆フード・ドライブ

賞味期限が間近となった食品をフードバンク活動へ寄贈する

等できるかぎり食品として有効活用

第4次食育推進基本計画 重点課題について



重点課題1の新しい生活様式に対応した食育の推進ですが、これまで伝えてきた国産のものや旬(季節)のものを食べる、個別に食べられる量を盛りつけて食べるなどは、古いようですが新しい生活様式に対応した食育だと考えています。また、重点課題3の和食文化の次世代への継承も、小鉢、小皿などに盛り付けるなどが、新しい生活様式に対応した食育だと考えます。

重点課題2の国民の健全な食生活の実践を支える食育の推進では、「食育」が未だに十分に理解されない理由として、「食育」という表現が子どもに教えるようなイメージから、高齢者には関係ないと思われていたことも原因だと考えています。

家庭や地域では、高齢者が子どもや孫に食育を行っています。共働きの若い世帯では、幼児などの世話をする、預かってくれる親が近くにいないでは働けない人も多くいます。

高齢者が健康で長生きすることが、地域や家庭では極めて重要です。「高齢者に対する食育の推進」ではなく、「高齢者の食育と食育への関りの推進」としたほうが現実に即しています。

重点課題3の環境に関する項目は、子どもたちの未来のためにも重要な点で後退させてはいけなとを考えます。

基本計画の目指す到達点で、食育によるSDGs達成への貢献と書かれています。

「食育」は、SDGsのゴールに向けての一つのターゲットだとは思いますが、「SDGs」の理解と「食育」の理解が進んでいないと考えられ、食育基本計画の推進とともにSDGsを忘れさせない忘れなない取り組みを進める必要性を感じています。